

ストックマネジメント計画 令和6年10月改定の概要（参考資料）

- ・下水道局では、流域下水道事業の健全経営を行っていくため、「下水道局経営戦略」において目標や指針を定めている。（平成30年1月策定）
- ・これらを具体的実現するため「下水道局経営マネジメント目標」により、実践目標や主な取組を定め、建設改良事業について「5年間で1,000億円程度（年200億円程度）」の投資目標を設定した。（平成31年1月策定）
- ・投資目標と整合を図りながら施設整備を進めるため「下水道局ストックマネジメント計画」を策定した。（平成31年1月策定）
- ・近年の資材価格高騰等を踏まえ、現計画と同水準の整備内容を維持するため投資目標額を改定する。

現行の経営戦略と経営マネジメント目標及び下水道局ストックマネジメント計画

下水道局経営戦略

（平成30年1月策定）

- 目標：24時間365日、絶え間なく流域下水道サービスを提供する。
- 指針：下水処理システムの保全や災害対策の強化など下水道本来の機能を将来に向けて『持続』していくとともに、下水道資源の有効活用など事業環境の変化に適応する『進化』を遂げる。

下水道局経営マネジメント目標

事業の実践目標や主な取組を定め、（平成31年1月策定）
建設改良事業について5年程度の投資目標を設定。

「持続」に関する実践目標

- I：良好な水環境の確保
- II：下水道施設の保全
- III：災害対策の強化
- IV：収支が均衡する安定的・持続的な経営
- V：効率的な執行体制の構築

「進化」に関する実践目標

- VI：良好な水環境の確保
- VII：市町村支援の充実
- VIII：温暖化対策の推進
- IX：下水道資源の有効活用
- X：新技術等の積極導入

投資目標 5年間で1,000億円程度（年200億円程度）

下水道局ストックマネジメント計画

（平成31年1月策定）

限られた組織や人員のなか、下水道局経営マネジメント目標で設定した実践目標や投資目標との整合を図り施設整備を進めるため、下水道局内部における建設改良事業の総合シナリオを定める。

建設改良事業

老朽化対策：流域下水道ストックマネジメント計画

災害対策：総合地震対策計画、耐水化計画

下水道資源の有効活用や温暖化対策に関する事業

処理水量の増加が見込まれる流域における施設の増設

ストックマネジメント計画 令和6年10月改定の概要（参考資料）

○ 経営マネジメント目標及びストックマネジメント計画における投資目標の見直し

下水道局ストックマネジメント計画における投資目標の見直し

現計画：30年間 約6,000億円（約200億円／年）

↓ 現計画と同程度の改築内容を維持

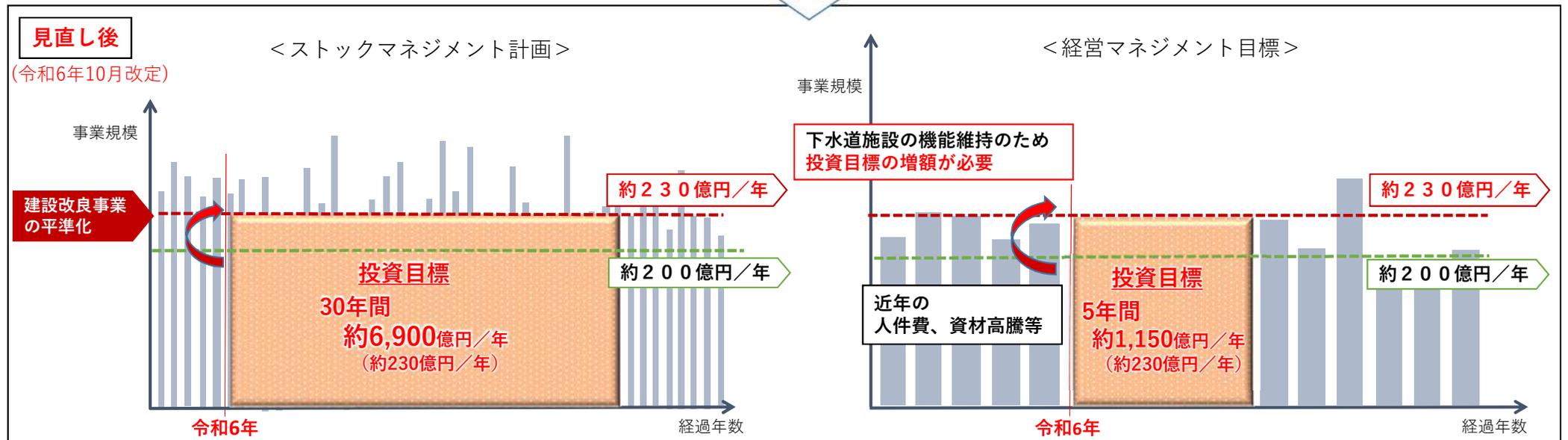
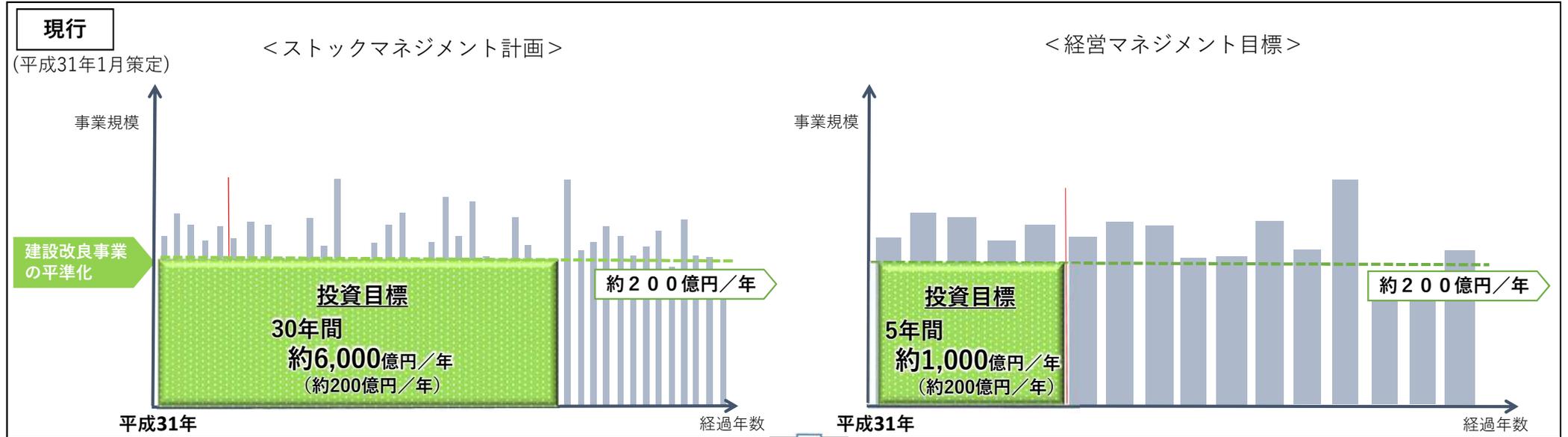
次期計画：30年間 約6,900億円（約230億円／年）

経営マネジメント目標で定める投資目標の見直し

現目標：5年間 約1,000億円（約200億円／年）

↓ 現計画と同程度の改築内容を維持

次期目標：5年間 約1,150億円（約230億円／年）



ストックマネジメント計画 令和6年10月改定の概要 (参考資料)

